ビデオテープの録画・再生についての注意点

ビデオテープについて

◆ 次のようなビデオテープは使わないでください。ビデオヘッドが汚れたり、ビデオテープが切れたりからんだりして故障の原因となることがあります。
- 傷んだビデオテープやカビの生えたビデオテープ。
- ジュースや粘着物が付いたビデオテープ。
- 一度切れたものをつないだビデオテープ。
- 分解したビデオテープ。

クイックプレイ

◆ ビデオテープ挿入直後や再生を停止後約5分以内の場合は、再生を始めると約1.5秒で画面に映像が表示されます。

S-VHS簡易再生

◆ 本機ではS-VHS方式で録画されたビデオビデオテープも再生できます。(ただし、S-VHS本来の画質は得られません。)

再生中の画面や音声にノイズが出るときは

映像に白い帯状のノイズが出る、画面がざらつく、音声に雑音が出るとき

ビデオテープを再生中に、画面に出るノイズなどが少なくなるように調整することをトラッキングの調整といいます。本機では、再生中に自動的にトラッキングが調整されます。

◆ トラッキングの自動調整中は、映像や音声にノイズが出ることがあります。
また、ビデオテープによってはトラッキングの自動調整が終わるまで少し時間がかかることがあります。

ビデオテープの録画状態によって、再生中にこのような症状が出る場合は、トラッキングを手動調整してください。

再生中に、リモコンの チャンネル △▽ または、本体の ▼ ▲ (チャンネル) を押す

◆ 見やすく(聞きやすく)なるところに合わせます。
◆ 再生を停止すると、自動調整に戻ります。

画面全体にノイズが出る、音声に雑音が出てざらざらした画面になるとき

ビデオヘッドが汚れていると、このような症状が出ます。市販の乾式クリーニングテープを使って、ビデオヘッドをクリーニングしてください。

◆ 湿式クリーニングテープは、クリーニング液の付け過ぎなど、使いかたを誤ると故障の原因となるため、使わないでください。
◆ クリーニングテープを使用しても効果がないときは、お買い上げの販売店またはお近くの「日立お客様相談センター」にご相談ください。

映像が乱れたり、色がおかしくなるとき

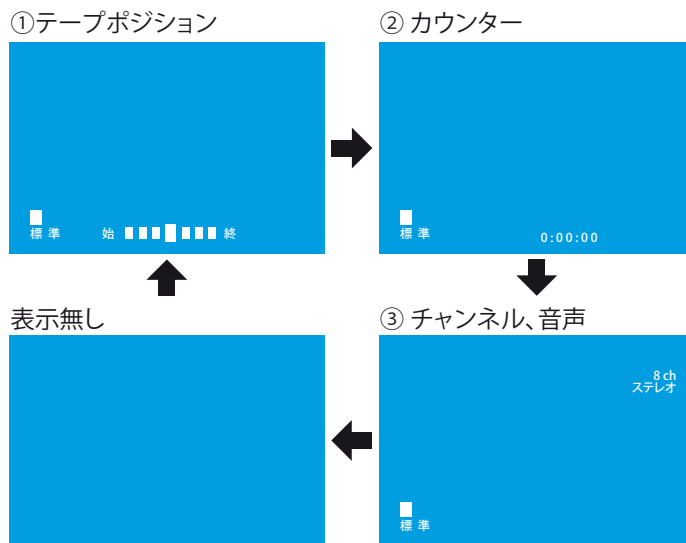
コピーガード(違法な複製を防ぐための機能)がかかったビデオソフトやレンタルビデオテープをダビングした場合に、この症状が出ます。

停電があったときは

全般

◆ 録画中に停電したときは、そこで録画は終了します。
◆ 停電から復帰すると、自動的にシステム設定を行います。(この場合、停電復帰後に電源を入れると、操作先は前回電源が入っていたときのモードで起動します。)

画面表示について

リモコンの 画面表示 を押すと、次のように切り換わります。

◆ 録画中や再生中にテープポジションを表示する場合、テープポジションの現在位置(■)が表示されるまで最大で2分ほどかかります。
◆ ビデオテープによっては、ビデオテープの現在位置が正しく表示されない場合があります。
◆ 早送り/巻き戻し中は、自動的にテープポジションが表示されます。
◆ ワンタッチタイマー録画中に画面表示を表示したときは、録画の残り時間が表示されます。
◆ チャンネルや音声を切り換えたときや、動作状態が切り換わったときは、自動的に該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。

おもな動作表示

●	録画
標準、3倍	録画モード
▮▮▮▮▮～▮	録画一時停止 (1分ごとに ▮ が1つずつ減っていきます)
■	停止
▶	再生
▶▶、◀◀	早送り、巻き戻し

フタを開いたところ

◉テレビ番組を録画する

1 ●テレビの電源を入れ、テレビ側の入力切換を本機を接続した入力にする

● 電源 を押して、本機の電源を入れる

◆ ツメの折れていないビデオテープを入れます。
（ツメが折れている場合は録画できません。）

2 VHS を押して、VHS操作モードにする

本体のVHSランプが点灯します。

◆ HDD/DVDの録画中はVHS操作モードに切換できません。

3 チャンネル△▽ または 1 〜 12 で録画したいチャンネルを選ぶ

◆ ほかの機器から録画する場合は、外部入力（L1またはL2）に切り換えてください。
（参照 96ページ）

4 録画モード で録画モードを選ぶ

【標準】‥ ビデオテープに表示の時間と同じ時間録画ができます。
【3倍】･･･ 標準より3倍の時間録画できますが、標準よりも画質/音質が劣ります。

5 録画● を押す

録画が始まります。

◆ 録画の始めの部分に、インデックス信号（頭出し用の目印）が自動的に記録されます。
◆ ビデオテープへの録画は、リモコン側の 録画● を使用してください。

録画を一時停止するには

一時停止 ❚❚ を押す

◆ 録画が一時停止します。（最大約5分まで）再度 一時停止 ❚❚ を押すと再び録画を始めます。
◆ ビデオテープの録画とHDD/DVDの再生を同時に行っているときは、
先に VHS を押して、操作先をVHSに切り換えておいてください。
（切り換えると、再生は自動的に停止します。）

Point

◆ 録画中にビデオテープの終わりになると、自動的に巻き戻したあと、ビデオテープを排出します。

停止するには

停止 を押す

録画が停止します。

- ビデオテープの録画とHDD/DVDの再生を同時に行っているときは、先に VHS を押して、操作先をVHSに切り換えておいてください。
  （切り換えると、再生は自動的に停止します。）

録画が終わってビデオテープを取り出すときは

停止中にVHS操作モードになっているときに 取出し/開閉 **を押す**

Point

- ビデオテープに直接録画できるのは地上アナログ放送と外部入力（L1、L2）のみです。デジタル放送は録画できません。
- ビデオテープに録画する場合は、録画予約は利用できません。
- 録画一時停止を約5分続けると、ビデオテープ保護のため、自動的に録画が停止します。
- 録画中に停電したときは、そこで録画が終了します。
- 録画中はリモコンの 取出し/開閉 は働きません。

フタを開いたところ

◉タイマーで録画を自動的に終わらせる (ワンタッチタイマー録画)

録画中に録画終了時間を設定できます。
録画中の急な外出やおやすみ前などに便利です。

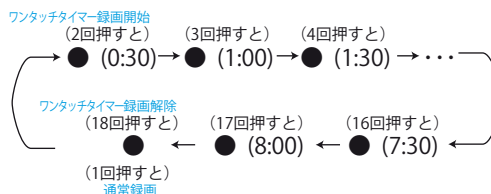
1 VHS を押して、VHS操作モードにする

本体のVHSランプが点灯します。

- HDD/DVDの録画中はVHS操作モードに切換できません。

2 録画中に 録画 を押す

録画終了時間を設定できます。

- 押すごとに、30分単位で最大8時間まで、録画終了時間をセットできます。

- ワンタッチタイマー録画開始後に 録画 を押すと、録画終了時間を30分単位でさらに延長できます。
- 録画終了後は、自動的に録画が停止し、電源が切れます。

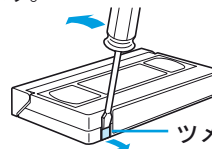
Point

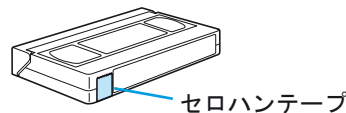
- ワンタッチタイマー録画の終了時に、録画や再生、メニュー操作をしているときは、確認画面は表示されず、電源も切れません。
- ワンタッチタイマー録画を途中でやめるときは、停止 を押すと録画が停止します。

◉大切な録画を誤って消さないために

録画済みのテープにもう一度録画すると、前の録画内容が消えて、新しい内容が録画されます。
テープのツメを折っておくと、新しく録画ができないようになります。

録画できないようにするには

- ツメは、残らないように折ってください。
  折り残しがあると、録画されてしまうことがあります。

ツメの折れたテープに再び録画できるようにするには

- ツメを折った部分に、セロハンテープを二重に貼り、めくれないようにしてください。

ビデオテープを見る（再生）

◉ビデオテープを再生する

1 **テープを入れる**

◆ レンタルしたビデオテープなど、ツメの折れたビデオテープを入れると、自動的に再生が始まります。

2 **VHS を押して、VHS操作モードにする**

本体のVHSランプが点灯します。

◆ HDD/DVDの録画中はVHS操作モードに切換できません。

3 **再生 ▶ を押す**

再生が始まります。

◆ 主音声と副音声が混ざって聞こえるときは、音声切換 を押して聞きたい音声に切り換えてください。（参照 119ページ）

停止するには

停止 ■ を押す

再生が停止します。

テープを取り出すときは

1 **VHS を押して、VHS操作モードにする**

2 **取出し/開閉 ⏏ を押す**

◉早送り/巻戻しをする

1 **VHS を押して、VHS操作モードにする**

2 **サーチ/スロー ◀◀ サーチ/スロー ▶▶ を押す**

◆ 停止 ■ を押すと早送り/巻戻しが終了し、停止します。

◆ 再生 ▶ を押すと再生が始まります。

Point

◆ デジタル放送を視聴時、VHS操作モードに切り換えると、アナログ放送に切り換わります。

◆ 次のような場合は、ノイズが出たり、映像や音声がとぎれたり一瞬乱れることがあります。「再生中の画面や音声にノイズが出るときは」（参照 112ページ）をご覧になり、調整をしてください。

- ほかの機器で録画したビデオテープを再生したとき（特に3倍モードで録画したビデオテープの場合）
- 録画モードが切り換わったところやビデオテープに傷があるところを再生したとき。
- いろいろな速度の再生にしたときや、いろいろな速度の再生から通常の再生に戻したとき。

◆ 再生中、早送り中にビデオテープの終わりになると、自動的に巻戻したあと、ビデオテープを排出します。

◉再生速度を変えて見る

テープ

早く見る(スピードサーチ)

再生中に サーチ/スロー ◀◀ サーチ/スロー ▶▶ を押す

◆ 押すたびに、速さが次のように切り換わります。

ボタン	録画モード標準	録画モード3倍
1回押したとき	約5倍速	約5倍速
2回押したとき	約5倍速	約15倍速

◆ 再生 ▶ を押すと通常の再生に戻ります。

止めて見る(静止画再生)

再生中に 一時停止 ❚❚ を押す

再生が一時停止します。(最大約5分まで)

◆ 再生 ▶ を押すと通常の再生に戻ります。

ゆっくり見る(スロー再生)

静止画再生中に サーチ/スロー ▶▶ を押す

スロー再生になります。(正方向のみ)

◆ スロー再生中に サーチ/スロー ◀◀ サーチ/スロー ▶▶ を押すと、速さを約1/5〜1/30倍速に切換できます。(サーチ/スロー ▶▶ を押すと速く、 サーチ/スロー ◀◀ を押すと遅くなります。)

◆ 再生 ▶ を押すと通常の再生に戻ります。

◆ 一時停止 ❚❚ を押すと再生一時停止に戻ります。

コマを進める(コマ送り)

静止画再生中に 一時停止 ❚❚ を押す

◆ 押すたびに、コマが進みます。(正方向のみ)

◆ 再生 ▶ を押すと通常の再生に戻ります。

Point

◆ スピードサーチ、静止画再生、スロー再生、コマ送り中は、音声は出ません。
◆ スピードサーチ、静止画再生、スロー再生では、画面に動作表示が出ません。
◆ いろいろな速度の再生中は、映像に数本ノイズが出ます。また、画面が上下にブレることがあります。
◆ 静止画再生や同じ速度のスロー再生を続けた場合は、ヘッドやビデオテープ保護のため、約5分後に自動的に再生を停止します。

◉見たいところまで飛ばす（頭出し）

次のような飛ばしかたがあります。

CMなどを30秒単位で飛ばして見る（30秒スキップ）

再生中に 可変スキップ/30秒スキップ を押す

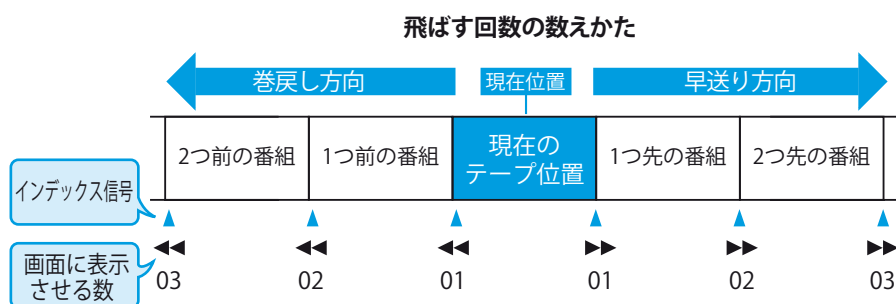
- 押すたびに（最大6回まで）、30秒単位で最大約3分先まで早送り再生され、通常の再生に戻ります。
- 30秒中にCMが終わったときは、再生 ▶ を押すと再生が始まります。

見たいところまで飛ばして見る（VISS）

複数の番組を録画したビデオテープから、見たい番組をすばやく探せます。
ビデオテープに記録された頭出し信号（VISS：VHS Index Search System）を目印に、見たいところまで早送り/巻戻しできます。

停止、再生または静止画再生中に スキップ/コマ送り ⏮ スキップ/コマ送り ⏭ を押す

- 押した回数だけ、記録されたインデックス信号を飛ばして早送り/巻戻したあと、通常の再生が始まります。（最大20まで）

飛ばす回数の数えかた

Point

- 30秒スキップは、再生時以外は操作できません。
- 未録画部分になると、30秒スキップは正常に働きません。
- 30秒スキップ中は、音声は出ません。
- インデックス信号の間隔が短い（約5分以内）場合は、VISS（VHS Index Search System）が正しくできないことがあります。
- VISS後の頭出し開始位置は、多少前後することがあります。

音声を切り換える/カウンターをリセットする

◉音声を切り換える（音声切換）

テープ

二カ国語（二重音声）やステレオ音声が記録されたビデオテープを再生するときや、二カ国語（二重音声）放送を受信するときに、聞きたい音声を選ぶことができます。

再生中に 音声切換 を押す

- 押すたびに、次のように音声が切り換わります。
  - ステレオ音声、二カ国語（二重音声）が記録されたビデオテープの場合

    → ステレオ → 左音声 → 右音声 → モノラル →

  - 二カ国語（二重音声）放送の場合

    → 主：副 → 主音声 → 副音声 →

◉カウンターをゼロに戻す

停止中に カウンターリセット クリア を押す

本体表示部のカウンターが「0:00:00」にリセットされます。

- ビデオテープを入れると、カウンターはリセットされます。
- 録画していない部分では、カウンターの数字は変わりません。
- 「0:00:00」の位置より前にビデオテープを巻き戻すと、「ー」（マイナス）表示が出ます。

Point

- 録画時は、ビデオテープに録画される音声を切り換える必要はありません。
- 音声切換で選んでいる音声に関係なく、ビデオテープに録音されます。

ハイファイ音声とノーマル音声について

- ビデオテープに音声を録音/再生する音声ヘッドのうち、回転ヘッドで録音/再生するほうをハイファイ音声といい、L（左/主音声）とR（右/副音声）を別々に録音/再生できます。
  これに対し、固定ヘッドで録音/再生するほうをノーマル音声といい、L/Rの区別なく録音/再生します。
  テープの再生中の音声を切り換えるときに、「モノラル」の場合はノーマル音声が、それ以外の場合はハイファイ音声が聞こえます。ハイファイ音声はノーマル音声より高音質になります。